

令和8年度 系島市立南風小学校

主題研究

思考・判断・表現を発揮する児童の育成
～単元デザインのエ夫による
40分授業の質的向上～

主題設定の理由

- ▶ 考えを深める・理由をもって伝えることに課題
- ▶ 単元全体で「思考→判断→表現」を働かせる学びをつくる
- ▶ 自分の言葉で語れる児童を育てたい

主題の意味

- ▶ 知識をもとに
考える・判断する・表現する力
- ▶ 思考の過程を重視
- ▶ 対話で考えを深める
- ▶ 主体的に学ぶ姿を目指す

目指す子どもの姿

根拠をもって、自分の

考えを表現する子ども

観点	低学年(1・2年) わけを言える	中学年(3・4年) わけをそろえて言える	高学年(5・6年) わけを選んで伝える
根拠 (何をもとに?)	A:体験・見たことをもとに理由が言える B:「～だから」と理由をつけている C:理由が言えない／ずれている	A:複数の事実・経験をもとにしている B:1つの理由で説明している C:理由が弱い／不十分	A:目的に応じて根拠を選び妥当性がある B:根拠をもとに説明している C:根拠が適切でない／不十分
表現 (どう伝える?)	A:文の形で分かりやすく話せる B:短い言葉で考えを言える C:考えを言えない	A:理由を整理して分かりやすく説明できる B:理由をつけて説明している C:説明が不十分	A:筋道立てて相手意識をもって説明できる B:順序立てて説明している C:分かりにくい
つながり・深まり (どう考える?)	A:考えと理由がはっきりつながる B:なんとなくつながる C:つながりがない	A:比較・関係付けをして説明している B:ある程度つながっている C:つながりが弱い	A:反対意見や別の見方も踏まえている B:自分の考えを述べている C:一面的(偏っている)
話型 (到達イメージ)	「○○だと思えます。なぜかという△△だからです。」	「理由は2つあって、1つ目は～、2つ目は～です。」	「～という考えもありますが、私は～と考えます。その理由は…」

副主題の意味

▶ 単元計画

内容と順番を並べる「予定表」

▶ 単元デザイン

- ・ **ゴールから逆算**する「設計図」
- ・ 問い、つながり、意味づけを重視
- ・ 40分でも深い学びを実現

40分授業について

▶ 45分→40分

▶ **むずかしさ**

- 40分で、導入→展開→まとめ
- 何かを省略する必要
- 資質・能力の育成

研究の目的

▶ 単元デザインを工夫し、

40分授業でも思考・判断・表現を

発揮できる授業を明らかにする。

研究の仮説

▶ **ゴール明確化**

▶ **学習過程の構造化**

▶ **活動の精選**

→ 児童は主体的に学び、

思考・判断・表現を發揮できる

研究の柱①

▶ 単元デザインのエッセンス

- 教科の本質
- 質の高い問い（学習問題）
- 学習過程の連続性

具体的な手立て

▶ 単元デザイン

- ゴール設定
- 評価の明確化
- 山場（中心課題）
- 単元のストーリー化

例) 第4学年算数「面積」(全10時間)

①ゴール設定(単元目標)

広さを、公平に比べたり求めたりする方法を、
自分の言葉で説明できる。

②評価の見取り

ノート・発言

- 同じ大きさで考えている
- 理由を言っている
- 図で説明している

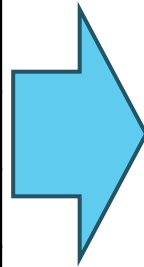
③学習の山場(中心課題)を設定

「なぜ縦×横で求められるのか？」

例) 第4学年算数「面積」(全10時間)

④単元の流れ

配時	学習内容
1	花壇の広さ比べを通して、単元の課題をつかむ。
2	面積の単位 cm^2 を知り、面積を表す。
3	長方形や正方形の面積を公式を使って求める。
4	複合図形の面積を求める
5	面積の単位 m^2 を知り、面積を表す。
6	長さの単位が異なる場合の長方形の面積を求める。
7	1m^2 を作って、およその面積を求める。
8	面積の単位 km^2 を知り、面積を表す。
9	面積の単位 a 、 ha を知り、面積を表す。
10	学習内容の理解を確認する。



学習内容	分
①形の違う2つの図形を比べる。 →「どうすればきちんと比べられる？」	40
②マスを使って比べてみる。 →「どんなマスでもいいの？」	40
③バラバラではなく、 1cm^2 でそろえて数える。 →「全部数えるの大変じゃない？」	80
④行や列で数える方法を見つける。 →「もっと早くできない？」	40
⑤「たて×横」に気づき、複数の図形で試す。 →「いつでも使える？」	40
⑥公式の意味を考える。(なぜ「たて×横」?) →「どんな形でも使える？」	80
⑦複合図形の面積を求める。(校庭の形(L字)もあり) →「どの方法がいい?」「 1cm^2 で難しいならどうする?」	40
⑧第1時の問題に戻り、広さを説明する。	40

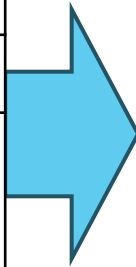
<ポイント>

- ①ゴールは「広さをどう考えるか、どう説明するか」
→テストだけでは評価できない
- ②他の単位は教えるではなく、世界を広げる話題として扱う

例) 第3学年国語「おすすめの一冊を決めよう」(全8時間)

単元の流れ

配時	学習内容
1	学習課題を設定し、学習計画を立てる。
2	話し合いの目的と、決めることを確かめ、紹介したい本とその理由をもつ。
3	役割を決め、進め方を確かめる。
4	話し合いの仕方を確認する。
5 6 7	1冊に決めるために、話し合う。
8	話し合いをふりかえる。



学習内容	分
①1年生からのお願い動画を見て、学習の見通しを持たせ、話し合う目的や学習のゴールを共有する。 →目的意識がはっきりする	40
②紹介したい本を決めるために、1年生や1年生の先生にインタビューを行い、紹介したい本を決める。 →インタビューで得た情報をもとに、本を決められる!	40
③いきなり話し合いを行い、FBする。 →話し合いの仕方が分からなくて難しい。 進め方のお手本動画(悪い例・良い例)を視聴し、話し合いの進め方を自分で見つける。 →失敗や悪い例の手本から学ぶ。	80
④役割を決め、自分の進め方で話し合いを行う。 →1回目の話し合いでの改善点をFBし、2回目の話し合いに臨む。(必要であれば3回目)	80
⑤2回目の話し合いで、紹介する本を班で1冊に決める。	40
⑥1年生に読み聞かせや、本の紹介をする準備し、実際に、紹介する。	40

<ポイント>

- ①ゴールや目的意識を子どもと共有する。
- ②話し合い方を先に教えるのではなく、子どもたちが作り上げていくもの。

研究の柱②

▶ 主体性を促す学習過程

- 前時→次時のつながり、導入に依存しない
- 流れ選択できる活動
- 文脈を生かす

具体的な手立て

▶ 授業の型（例）

- まずやってみる
- 比較から学ぶ
- 続きから始める
- 失敗→改善
- 問い固定

研究の流れ

単元検討（6月）

指導案作成（6～7月）

指導案審議（9月）

授業整理会（9～12月）

改善案作成（1月）

研究の方法

- 1人1実践
- 教科グループ協議
- 生成AIの活用
- 授業整理会（自評→質疑→FB）
- 改善案の作成・保存

まとめ

▶ 本研究が目指すもの

① 単元デザインの工夫により、
40分でも深い学びを実現する授業づくり

② 児童が思考し、判断し、根拠をもって表現する力を育てる